

# 令和7年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2026.1.16(金)

事業コード	25-G-09	学校名	山県市立桜尾・梅原・大桑小学校			住 所	山県市伊佐美706-1
実施日		11月13日(木)9:30～11:45			受講児童生徒数	78名(4～6年生)	
開講職種数		6職種	指導者数	9名	参観保護者数	4名	

## 学校アンケートの結果

- 1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか
- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

・実際に体験させてもらえるので、目の前で簡単に行ってしまう職人さんの「すごさ」が実感できるプログラムの構成がとても良いです。「こんなことができる人がいるのかー」、「職人さんってすごいなー」子どもたちの目の輝きやあいた口元から羨望が伝わってきました。加えて、職人さんからの子どもたちに向けた講話や言葉がとても良かったです。「とにかく続けることでここまでの」「自分がやると決めたからやってこれた」「自分に負けないこと」「お客さんの喜ぶ顔」「好きなことを見つけて。そのためにはいろいろやってみよう」全く飾り気のない言葉だからこそ、子どもたちに響いてるように感じました。受講している子どもたちはもちろん、見守る教員、参観者の方、そして主役の職人さんもみんなが笑顔になれる素敵な会だと感じています。(桜尾小学校)

・好きなことの延長や、親や嫁ぎ先の職業からなどきっかけは様々であったが、その道に進み、誇りをもって仕事をしていらっしゃる講師の先生の生き方をそれぞれに学ぶことができたのは、大きな成果である。

・単なる体験学習ではなく、人を知る、仕事を知る、体験を通してものづくりの楽しさを知ることができた。(梅原小学校)

・一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促すキャリア教育は、小学生の段階から適切に行われることが求められます。しかし、実情として上記の教育を丁寧に行えているかと問われると、難しい側面もあります。

今回の「未来の技能者育成事業」は、この岐阜県でご活躍されている職人さんからの、子どもたちにとって身近な存在の方々から、直接指導を受けることができる貴重な機会です。今回の経験が、子どもの「夢」や「憧れ」を刺激し、自分の未来をイメージする良い機会であった。これからも、ぜひ継続していただきたい事業だと感じました。(大桑小学校)

## 会場担当教員アンケートの結果（6会場の先生）

- 1 この体験授業にて児童生徒にもものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか
- ①大変よく伝わった → 

6

②ある程度伝わった →

③あまり伝わらなかった →

④全く伝わらなかった →
- 2 児童生徒に対するキャリア教育の視点で、この体験授業の価値や要望について、自由にお書きください。

→

・普段出会うことのない職業の職人さんに会うことは、「その物がどうやってできているか」を知ることになる。こんなに手作業で、プロの技によって完成しているのだという感動を得た。

また、その方の職人としての思いやこだわりを聞くことで、「一つのことを極めるすごさや喜び」について知ることができ、極めることへの憧れを抱き、職業選択のきっかけになり、働くことへの希望を持つことができたように感じた。ありがとうございました。(寝具製作会場)

・和菓子が遠い存在に感じていた児童も、今回の活動で意外と身近なところにあることに気付いていた。また、プロの技を肌で感じる事ができた。普段の生活ではあまり身近でない職業について知る、実際に体験するなどの機会が増えることが、選択肢を増やすことにつながると思う。(菓子製造会場)

・知識・経験・技能豊富な専門家に来校いただき、なかなか経験できないことを体験することができた。体験内容も様々で、職人さんへの憧れを抱いていた。講話からは、夢を叶えた先輩として、今の子供たちにできることを教えていただいた。講話や体験を通して、自分の将来について考えるきっかけになったと思う。(建築大工会場)

・好きなことを毎日、続けることで力がつくこと。失敗を何度しても諦めないことで、より上達すること、周りの人たちが応援してくれることなど、生き方の話をしてくださり、ありがたかった。(広告美術仕上げ会場)

・職人さんに直接話を聞いたり、目の前で実際にその技術を見せていただいたりする機会はなかなかないので、子どもたちにとって、とても貴重な経験になったと思います。また、自分の仕事について、心から楽しそうに熱く語り、分かりやすく教えてくださいました。職人の方々が本当にかっこよく、感動しました。自分の仕事に誇りを持ち、社会で一生懸命働く、こんな職人の方々がいてくださることは、子どもたちの希望であると感じました。この体験を通して、磨き抜かれた技術の素晴らしさだけでなく、その裏にある、仕事に対する思いや努力についても感じる事ができたと思います。子どもたちにも、将来、今日の職人さんたちのように、自分の仕事に誇りを持ち、熱く語れる大人になってほしいと願っています。今日の体験授業は、その大きな一歩になったと思います。ありがとうございました。(建築板金会場)

・教員ではなく、専門的な知識や技能を持った職人の方から直接学ぶことができるこの事業は、子どもたちにとって、価値あるものである。さらに様々な職種の方から学ぶ機会が持てることを望む。(フラワー装飾会場)

指導者アンケートの結果（6 職種の各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- ②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった
- ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
- ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

5
1

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・我々、寝具業界は職人の高齢化と後継者不足が深刻な状況であり、またインターネットなど大手メーカーによる量販や価格に転嫁した通販などの影響もあって”廃業”を余儀なくされる小売店も少なくありません。その一方で、職人が手掛けた『本物の布団』を求める顧客は全国にいます。唯一無二、一人一人の要望に沿った付加価値の高い布団を仕立てることのできる職人の存在を世の中にもっと発信していく必要があります。

この体験授業を通して『ものづくり』という職業の”魅力”と”可能性”を多くの子どもたちに伝えられることは非常に尊く、私自身とても嬉しく思います。

私は、ある人との出会いが”キッカケ”でこの世界に入りました。しかも、その出会いは突然に訪れました。どうか、これからもこの様なキャリア教育を実施することで子どもたちが”夢を抱く”ことのできるキッカケづくりを岐阜県主導で積極的に推進していただきたいです。（寝具製作職種）

・偶然だと思いますが、子供たちの中で2回目という子供が2,3人いました。昨年のことをしっかり覚えていて、今回はうまくできたとのこと。またやりたいと思うことは嬉しいことで、その先に続くものだと思います。

色々な仕事を知ることとはとても素晴らしいことで、子供が体験することでものづくりの楽しさに気付く、それが大切です。この事業を通して、一人でも多く職人を目指す子供が増えることができれば素晴らしいと思います。そのためにも事業の継続または拡充を期待しています。（菓子製造職種）

・建築業界の人材育成・確保には体験授業で、ものづくりの経験・体験により、ものが出来ていく楽しさ、完成する喜びなどを伝える。具体的には、現場体験による、またはプロの方々との交流による説明、技術の目の前での披露等により、興味・関心を持ってもらうことが重要だと思います。今後も業界の魅力を伝え、将来の人材確保につなげることが期待されると思います。（建築大工職種）

・時代が変わり、広告美術業界も分業化になり、それぞれの個性や能力に合った部署で生き生きと活躍できる場が増えて良くなりましたが、進学し大学を卒業してから職人としての生活を考えると、少々年齢的には遅いと感じます。小・中学生の段階から将来の職業選択の方向性だけはこのような体験授業を通して決めることができれば良いと思っています。（広告美術仕上げ職種）

・この体験授業が未来への投資であると認識しており、学校教育と技能者の連携を強化していくことで、先は長いが将来の技能者が増えてくると思います。（建築板金職種）

・今回、小学生にフラワーアレンジメントの体験授業を実施できたことはとても良かったと思います。お花の仕事の喜びや魅力を伝えることができました。岐阜県独自の事業として体験授業が実現したことは素晴らしいと思います。今後の後継者につなげていくためにも、事業の継続を願います。そして、内容を充実したものにするために、材料費の値上げも考慮していただけるとありがたいです。（フラワー装飾職種）

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれぐらい満足されましたか

		寝具製作	菓子製造	建築大工	広告美術仕上げ		
指導者数		1	1	3	1		
受講児童生徒数		14	13	12	12		
回答	とても満足した	12	12	10	8		
	ある程度満足した	2	1	1	4		
	あまり満足できなかった	0	0	0	0		
	満足できなかった	0	0	1	0		
	合 計	14	13	12	12		

		建築板金	フラワー装飾			合計(左:人 右:%)	
指導者数		2	1			9	
受講児童生徒数		13	14			78	
回答	とても満足した	12	13			67	85.9
	ある程度満足した	1	1			10	12.8
	あまり満足できなかった	0	0			0	0
	満足できなかった	0	0			1	1.3
	合 計	13	14			78	100



## 寝具製作会場の様子



### 先生の感想

- ・職人さんの技を見せていただき、そして同じことを実際に自分でもやってみることで、職人さんの技のすごさを実感することができた。
  - ・家に帰って自分で使い続けられる物を作らせていただけ、宝物になり、職人さんの技を見た感動が、これからも続いていくと感じたし、家族にも伝わると感じた。
  - ・講話では、「10年サラリーマンをやっていたが、『ものづくり』で人の役に立ちたいと思い、家族や親戚に反対されながらも転身することを決意した。」という話を聞き、「やろうと思ったらとにかくやってみる」ことの大切さを感じることができた。
  - ・寝具の職人さんの講話は、子どもたちにとって学びの多いお話でした。
- 教室に戻って他の体験をしてきた児童の感想を聞いていると、「なぜその職業を極めようと思ったのか」、「どんな苦労があったか」、「職人をやっているの喜びは」など、児童の今後の道しるべとなるような話は聞けなかったと聞いたので、そういった話がよいと感じた。

### 児童生徒の感想

- ・これからやりたいことができたなら、自ら頑張っていこうと思った。
- ・布団は綿から作るということを初めて知り、職人さんは大変なんだなと思った。
- ・側布の角にもしっかり綿を入れることや、工夫の仕方を知り、作る機会があればもう一度作ってみたい。
- ・職人の人はやっぱりうまいと分かった。角の部分をとがらせるのもとてもキレイで、職人の人も角をキレイにとがらせるには10年はかかると言われて、これからちょっとやってみようと思った。
- ・職人さんは作るのがとても早くて、丁寧だったのすごかった。何人かで仕事を分けてやっているのかと思っていただけ、一人で側布の綿を成形したり、ミシンで止めたり、側布に綿を入れるのも素早くキレイに仕事をしていてすごかった。
- ・色々な説明をしてくれたり、面白おかしく話して笑いを取ったりしていて、とても分かりやすかった。
- ・人生の3分の1が寝ている時間と聞いて、それほど大切な物を作っているし、いくつもの工程をたった25分間でこなす職人さんは、すごいと思った。
- ・人の役に立つ仕事や人の役に立てる物を作ったり、人に関係している職業に就きたい。けど、まだひとくくりが大きすぎて一つに絞ることができない。



## 菓子製造会場の様子



### 先生の感想

- ・河田さんがお話してくださるときに、講義形式だけでなく、児童に質問しながら話をしてくださったことが良かった。具体例がたくさんあり、あまり身近ではないと思っていた和菓子も生活の中で見かけていたことに気付いていた。
- ・職人さんの技を目の前で見る貴重な機会となった。また、自分たちも同じものを作ることで難しさも分かり、より技のすごさを感じていた。
- ・児童が製作している途中で色々と話しかけてくださったので楽しく、時折質問しながら活動することができた。
- ・講義形式だけでなく、児童に話を投げかけていただいたので、対話形式で話を聞くことができてよかった。
- ・練り切り2種類と州浜(すはま)とたくさんの活動ができ、児童も充実感を感じていた。州浜は、みんなで1つのものを作る楽しさも味わうことができた。今後も活動をたくさん入れていただけるとありがたい。

### 児童生徒の感想

- ・和菓子を作るのに何分もかかったけど、職人さんは短い時間で上手に作っていてすごいなと思った。
- ・色々な道具で和菓子を作れて、凄く勉強になった。次は他の和菓子についても作り方を知りたい。
- ・和菓子作りでは、キレイな色にしたり、中の餡が透けないように工夫して作った。
- ・1個の和菓子を作るのに結構時間がかかるから、たくさん作ろうとしたらどれくらい時間がかかるのか想像しただけで大変だなと思った。
- ・菊に見立てた和菓子を作ったけど、ヘラを使うだけですごく美しい菊の和菓子ができた。少し難しかったけどとても楽しかった。
- ・作った和菓子の餡を包む白餡が均等にできていなかったし、菊の線を切るのがキレイにできなかった。細かい動作や他の和菓子の作り方も教えてもらいたかった。
- ・製作実演でどうやったらそんなに早くできるのか、秘訣が聞きたかったし、早く作った方が手のひらに材料が付きにくいのかなと思った。
- ・作品のできばえは初めて作るから不安だったけど、実際にやってみると楽しく作れて良い和菓子だなと思った。



## 建築大工会場の様子



### 先生の感想

- ・建築大工の仕事について、写真を使って説明を受けた。家を建てるだけでなく、様々な工夫や技を駆使して、一から物を作り出す喜びについて話していただき、子供たちも興味をもって聞いていた。
- ・小グループに分かれて、丸太切り、カンナがけ、研磨・穴あけなどを体験した。各体験の場に1人ずつ指導者の方が付き、分かりやすく実演を交えたサポートで、どの子も満足する体験ができた。
- ・丸太切りやカンナがけは、速く簡単に行っているように見えても、自分が体験するとなかなか上手いかず、職人さんの技術の高さに憧れを抱いていた。少しでも職人さんの技に近づこうと、繰り返し練習する姿が見られた。
- ・質疑応答では、「建築大工を目指したきっかけ」について、興味をもった児童が多く、一人ずつきっかけを話していただいた。子供のころからものづくりが好きで、大好きなことを自分の仕事にできたことを誇りに思う職人さんの姿から、自分の夢を考える時、自分の興味のあることや好きなことをたくさん見つけようと感じたと思われる。
- ・職人さんの技を間近で見せていただき、子供たちが実際に体験することで、その技術の高さに憧れを抱いていた。教室で学ぶことも大切だが、本物を間近で見る機会や体験する機会をたくさん設定していきたいと思う。建築大工では、刃物を扱うため、安全に体験するための約束を強調された。学校の教育活動でも、安全への配慮は必ず徹底していきたい。体験後には、みんなで後片付けを行った。体験して終わりではなく、最後まで指導いただき、後始末の大切さも学ぶことができた。後始末まできちんとできる子を育てていきたい。

### 児童生徒の感想

- ・のこぎりで木を切るときは、引くときに力を入れることを初めて知った。かんなで木を削ることを初めて体験して、難しかったけど楽しかった。
- ・大工の体験は疲れるけど、作れたときの喜びが大きかった。
- ・かんなを使って木を薄く削ったりするのがとても印象に残った。
- ・かんな削りのときに職人の皆さんは軽々とやっていたのに、私は重くて全然動かなくて削れなかった。でも集中できて楽しかった。
- ・職人の人たちはかんながけをすごく早いスピードでやっていて、すごいと感じた。
- ・初めて丸太を切って、太くて難しいなと思ったし、かんな削りでも簡単そうに見えたけど、意外と強い力が必要だったのでびっくりした。
- ・インパクトドリルについて、もっと詳しく使い方やコツを教えてもらいたかった。
- ・大工の仕事では、就職ではなくて弟子入りするということを、講話を聞いて初めて知った。
- ・木を切ってみるとのこぎりの使い方が難しかった。またやってみたい。自分で作ったペン立てなので、これからも大切に使っていきたい。



## 広告美術仕上げ会場の様子



### 先生の感想

- ・「失敗を何回も繰り返しても努力を続けることで、技が上達し、誰かの役に立つことや笑顔になってもらえることができる。達成感がある」という講話から、人としての生き方を学ぶことができた。
  - ・実際に書いてみると、美しい線を描くことやバランスをとることが難しいということが体験でき、目にする看板等は職人さんの思いや技術が込められていることを実感できた。
  - ・他のコース(和菓子作成、フラワー、木工、板金、座布団づくり)と比べると、実は技術が求められる活動だが図工の授業と同じようなことと感じている子どももいた。
- もう少し、表札の飾り枠や自分の名前のいろいろな字体の例などの工夫があると、さらに、プレゼンに出てきた職人さんの技や工夫に気付くことができるかもしれない。

### 児童生徒の感想

- ・数字を書くところが難しいと感じた。字をたくさん書いてコツをつかめたところは楽しかった。
- ・いつもは習字で名前を書くときは下手だったので、今日コツを掴めて良かった。
- ・職人さんが実際に数字や漢字を書いていて、とてもキレイだったことが印象に残った。
- ・筆を回して書くことや、全て同じ太さで書くということが難しかった。
- ・丸ゴシック体や角ゴシック体などの種類を学べた。筆の扱い方が難しかった。
- ・製作実演で各方向に筆を動かしながら書いてすごくキレイな字を書いていたので、職人さんはすごいなと思った。
- ・表札作りでは、あまり筆が使い慣れなくて、上手に書くことができなかったけど楽しかった。



## 建築板金会場の様子



### 先生の感想

- ・板金屋さんの仕事について、信田さんと安田さんがとても分かりやすく話してくださり、子どもたちも興味深そうに聞いていました。
- ・信田さんはユーモアを交えて一生懸命話してくださり、楽しく学ぶことができました。安田さんは、子どもたちのそばに優しく寄り添って丁寧にサポートしてくださり、子どもたちも安心して体験活動に取り組んでいました。
- ・好きな図案を自分で選べたり自分の好きな色にできたりするところが、子どもは楽しかったようです。「自分で選ぶ」ということは大切なことであるだけでなく、ワクワクするのだなと感じました。
- ・体験活動をするにあたって、やり方を書いた紙を配っていただけたので、子どもが見通しをもって進めることができました。
- ・活動の途中で、「〇〇さんの作品、みんな見て。」と、具体的なよさをその場で褒め、みんなで共有したことで、子どもも意欲的に取り組んだり、仲間から学んだりできていたと感じました。

### 児童生徒の感想

- ・銅を硫黄に浸すと、酸化して色が変わることを知った。
- ・今日体験してみて、板金職人の仕事も良いと思った。
- ・建築板金の体験授業は去年に続いて2回目だったけど、すごく楽しかった。
- ・板金屋さんのことがよく分かったので良かったし、力が必要で大変だったけど楽しかった。
- ・銅板は酸化すると色が変わるのがすごいと思った。
- ・板金屋さんは住宅のお医者さんと呼ばれていることを初めて知った。
- ・思ったより銅板をへこませるのに力が必要なことと、硫黄で酸化することが印象に残った。イニシャルとキャラクターの名前を入れるところを工夫した。
- ・今日建築板金の授業を体験して、屋根を直す人になろうと思った。
- ・とても楽しかった。スプーンを使って銅板を強く押すことが印象に残った。液体に浸す時間によって色がどんどん変わってくることを発見できた。
- ・銅板レリーフ作りでは、サッカーボールが浮かんで見えるように工夫した。自分の部屋に飾って大切にします。教えてくださった信田さん・安田さんありがとうございました。
- ・建築板金は、家の壁や屋根を作ることがとても重要なんだなと思った。実演の時に銅板で風車を作っていて、簡単に曲げていたので職人さんはすごいと思った。
- ・銅板レリーフ作りは、最初は自信が無かったけど、講師の方が分かりやすく説明してくれたので上手く作れた。



## フラワー装飾会場の様子



### 先生の感想

- ・結婚式やペットの死など人、場面それぞれに応じた花束を作る中で、相手の思いに寄り添って言葉をかけたり、花を選んだりしていらっしゃるという話は、子どもたちの心に響き、憧れをもった。
- ・目の前で、見事な花束やクリスマスリースが作られる様子を見て、子どもたちは感動していた。その中で、花の特徴や香りなども丁寧に説明されたり、香りをかがせていただいたりすることで、より興味をもつことができた。
- ・試行錯誤しながらのフラワーアレンジメントの活動では、職人さん(講師)の技術の高さを感じた。
- ・花に携わる仕事に誇りをもち、多くの方に魅力を発信されている職人さん(講師)の姿から、自分が決めたことに精一杯取り組みたいという願いをもつことができたのではないかと感じた。
- ・身近な「花」であるが、講話や実演、体験を通して、誰かのことを思って花束を作ったり花を生けたりするなど仕事の奥深さ・魅力を感じることができた。普段の学校生活では学ぶことのできない感動を味わうことができた。また、子どもたちの興味を引くように、実演しながらテンポよく話していただいた。体験活動では、一人一人の思いに寄り添った支援に心がけていらっしゃった姿勢は、学ぶところが多かった。

### 児童生徒の感想

- ・フラワー装飾は相手の気持ちも考えて花束やアレンジメントを作らないといけないことがよく分かった。
- ・花を刺すバランスなどがとても難しかったけど、楽しく出来た。
- ・都竹さんは「いつもお客さんに寄り添うのが花屋さんだ」と言っていて、花屋さんにもそんな深い思いがあるんだなと知った。
- ・バランスを考えて花を刺したり、きれいなアレンジメントが作れて楽しかったけど、難しかった。実演を見ていてもとてもきれいだったし、迫力があつたので花屋さんになろうかなとも思った。
- ・都竹さんのお花やお店、アレンジメントを作る時の思いが凄く伝わってきた。
- ・花屋さんは感情に寄り添って花を極めてやっているんだということを初めて知って、やりがいがある仕事だなと思った。
- ・花が目立つように、周りを暗くなるように長めの葉を配置することを工夫した。
- ・私も生け花や花が好きなので、花屋さんをやりたいと思った。
- ・生け花を今まで何回も行ったことがあるので、そこで習ったことを今日生かしながら作ることができた。
- ・話を聞いて、花屋さんの人は注文がきたらなるべく早く作るということを知って大変だなと思った。決めた季節の感じを出すために使う花や、その花の配置などを考えて作っていてすごいと思った。次は自分でリースを作ってみたい。
- ・あげる人に喜んでもらえるように花の配置をよく考えて作った。キレイに可愛く作ることができたから良かった。
- ・花を3cmぐらい茎を残して水呼コーナーに入れるということを知ることができて、とても楽しかった。
- ・自分の思うようにほとんど作れて、個性あふれるアレンジメントにできて楽しかった。